

9 年齢(3区分)別人口及び指数

(単位:人,%)

年度	区分	総数	0~14歳(年少人口)			15~64歳(生産年齢人口)			65歳以上(老年人口)					
			計	男	女	計	男	女	計	男	女			
			(%)			(%)			(%)					
昭和50年	旧水海道	38,820	8,949	23.05	4,583	4,366	26,073	67.2	12,837	13,236	3,798	9.7	1,658	2,140
	旧石下	19,220	4,642	24.15	2,367	2,275	12,677	66.0	6,257	6,420	1,901	9.8	791	1,110
昭和55年	旧水海道	40,435	9,451	23.37	4,798	4,653	26,480	65.5	13,227	13,253	4,504	11.1	1,890	2,614
	旧石下	20,374	4,937	24.23	2,541	2,396	13,152	64.6	6,587	6,565	2,284	11.2	970	1,314
昭和60年	旧水海道	41,715	9,145	21.92	4,688	4,457	27,430	65.8	13,816	13,614	5,140	12.32	2,056	3,084
	旧石下	21,532	4,981	23.13	2,496	2,485	14,016	65.1	7,171	6,845	2,535	11.77	1,022	1,513
平成2年	旧水海道	42,340	7,861	18.57	3,992	3,869	28,283	66.8	14,416	13,867	6,188	14.62	2,459	3,729
	旧石下	22,004	4,380	19.91	2,183	2,197	14,659	66.6	7,601	7,058	2,963	13.47	1,182	1,781
平成7年	旧水海道	42,683	6,710	15.72	3,420	3,290	28,656	67.1	14,752	13,904	7,313	17.13	2,965	4,348
	旧石下	23,346	4,085	17.5	2,007	2,078	15,722	67.3	8,226	7,496	3,539	15.16	1,479	2,060
平成12年	旧水海道	42,015	5,976	14.22	3,083	2,893	27,834	66.2	14,330	13,504	8,205	19.53	3,345	4,860
	旧石下	24,230	3,929	16.22	1,981	1,948	16,164	66.7	8,444	7,720	4,078	16.83	1,741	2,337
平成17年	旧水海道	41,851	5,420	13.0	2,787	2,633	27,385	65.4	14,205	13,180	9,046	21.61	3,728	5,318
	旧石下	24,669	3,920	15.89	2,003	1,917	16,192	65.6	8,400	7,792	4,557	18.47	1,964	2,593
平成21年	常総市	65,540	9,076	13.8	4,673	4,403	41,649	63.5	21,540	20,109	14,799	22.58	6,351	8,448
平成22年	常総市	65,320	8,873	13.6	4,549	4,324	41,425	63.4	21,438	19,987	15,021	23	6,461	8,560
平成23年	常総市	64,778	8,674	13.4	4,447	4,227	41,022	63.3	21,254	19,768	15,081	23.28	6,501	8,580

(注)総数には年齢不詳を含む
各年10月1日現在

資料: 国勢調査
常住人口調査

年少人口割合(%)		生産年齢人口割合(%)		老年人口割合(%)	
1 東海村	16.79	1 守谷市	68.80	1 大子町	36.58
2 守谷市	16.21	2 つくば市	68.51	2 常陸太田市	29.84
3 神栖市	15.44	3 神栖市	67.33	3 常陸大宮市	29.65
⋮		⋮		⋮	
16 常総市	13.39	23 常総市	63.33	24 常総市	23.28
⋮		⋮		⋮	
44 大子町	9.19	44 大子町	54.23	44 守谷市	14.98

資料: 茨城県「市町村早わかり」より

65歳以上人口は総人口の23.0%

総人口に占める65歳以上の割合は、1950年には僅かに4.9%であったが、1970年7.1%、90年12.1%、2000年17.3%、2010年には23.0%を記録した。これは、2010年におけるドイツの21%、イタリアの20%、フランスの17%と比べても、かなり高く、日本は、西欧諸国の高齢化の水準を上回り、世界一の高齢化社会に入ったと言える。

資料: (財) 日本統計協会「統計でみる日本2012」より